

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	力学第二演習		
英文授業科目名	Exercises in Mechanics II		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	越智 保雄		
居室	東4-424		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ochi@mce.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>力学第二演習は力学第二の講義内容をより理解するために、実際の演習問題を解くことを重点として授業を行います。内容は、力学第二の講義のうち質点系の力学と剛体の力学に関する問題を中心に行います。力学は様々な物体の運動を力学的に理解して、実際の機械の運動を力学的に取扱い、設計に適用するための基礎となります。毎回の演習問題を解いて力学的な問題に対する理解力を身につけることを目的とします。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>高校の物理、力学第一、力学第一演習</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>微分積分学</p>

【教科書等】
<p>特に指定しない。 毎回演習問題をプリントして配布する。</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

質点系の力学と剛体の力学を中心に演習問題を解きます。
毎回授業の初めにその日の演習内容に関する要点を簡単に説明してから演習問題を配付し解きます。
授業の内容は以下の予定です。

第1週～第4週 質点系の力学

質点系の重心、運動量、角運動量、重力のモーメント、相対運動

第5週 中間試験 (I)

第6週～第9週 剛体の力学 (I)

剛体のつり合い、固定軸周りの剛体の運動

第10週 中間試験 (II)

第11週～第14週 剛体の運動 (II)

剛体の慣性モーメント、剛体の平面運動

第15週 全体復習

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

原則として中間試験 (I),(II)、期末試験および出席、授業態度で評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話やメールなどの事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

力学第一、第一演習および力学第二と同様、力学第二演習は物理学の基礎としての力学を身につけることは、2年次以降の専門科目を学ぶ上で、また実際の機械の力学的挙動を理解する上で大変重要な基礎科目です。とにかく、毎回出席して演習問題を解いて十分理解するよう努力してください。

【その他】